

平成 27 年度学校保健講習会及び薬物乱用防止教室講習会報告

千葉県学校薬剤師会
常任委員 宮代和幸

平成 27 年 11 月 1 日（日）晩秋の天気の良いなか、会員 155 名・養護教諭 4 名・指導主事 1 名の方々が集い、平成 27 年度学校保健講習会及び薬物乱用防止教室講習会が千葉県薬剤師会会議室にて開催されました。

まず初めに、ファイザー株式会社健康増進推進部 泉水貴雄先生より「タバコを取り巻く環境の変化、防煙教育について」と題してご講演いただきました。

タバコを取り巻く環境では、タバコの税収が現在 2 兆円あるそうです。日本人男性の喫煙率は、先進国の中でも 39% と飛びぬけていて、米国では 21%・英国では 27% です。FCTC（タバコ規制枠組み条約）は、国際条約でタバコ消費の減少を目的としています。価格や税を高くしたり・包装やラベルの適正な表示・教育や情報の伝達・広告禁止・依存への適切な治療の促進・未成年者への販売禁止活動を行っていて、日本も 2004 年 6 月 8 日に批准しています。F1 レースカーの車体へのロゴマーク禁止や外国におけるアニメにおいて喫煙シーンがなくなってきています。ニコチン依存症のメカニズムは、脳にニコチンが結合するニコチン受容体があり、タバコを吸うと煙に含まれるニコチンがすぐに脳に達し、快感を生む物質（ドーパミン）が多く分泌され、すぐに受容体から離れて消え、イライラなどのニコチン切れ症状が現れて再びタバコを吸いたくなります。喫煙者自身への影響は、様々な疾患リスクが高くなり、寿命や健康寿命が短くなります。受動喫煙の影響は、スコットランドで公共の場で全面禁煙が施行されたため、心筋梗塞による入院はタバコを吸う人で 14% 減少、吸わない人で 21% 減少しました。店舗内のドアなどの分煙では受動喫煙を完全に防げない理由は、換気扇で吸う力より人間が動くことによる空気が移動する力のほうが大きいためで店舗内は完全禁煙が望ましいそうです。禁煙することの

メリットは、「呼吸が楽になる」「胃の調子が良くなり食欲がでる」「衣類や部屋がタバコ臭くなくなる」「肩こりがなくなる」「目覚めが良くなる」「口臭がなくなる」「肌の調子が良くなる」事です。外来での禁煙治療による保険適用は、1 日 20 本で 10 年吸わないと保険適用とならないため、若い世代の禁煙治療が自費になるところに問題があり、その適用を見直そうとする動きが出てきております。

次に、一般社団法人和歌山県薬剤師会の西前多香哉先生より「学校におけるノロウイルスの感染対策について ～ここがポイント！ノロウイルスの対応及び注意点～」と題して、講演をしていただきました。

ノロウイルスは、感染力が強く少量（数個～100 個）が体に入っただけで発症する事があります。潜伏期間は、24～48 時間でおう吐・腹痛・下痢・発熱症状が 1～2 日続き、特效薬は無く、症状を緩和させる薬ぐらいいです。症状が回復後もウイルスの排出が 1～3 週間以上続くので注意が必要です。自然界でもなかなか感染力を失わない理由として、「乾燥に強い」「70% アルコールや逆性石鹼に強い」「酸に強く胃を容易に通過し、熱に強く 85～90℃で 90 秒以上の過熱」が必要です。学校で使用するには次亜塩素酸ナトリウムがコストも安く有効になります。濃度は、ハイターやブリーチの蓋 1 杯で 1 ℓ に希釈します。感染経路は、経口です。原因食品のトップは貝類であるが、刺身・野菜・サラダ・ケーキなどからも感染する可能性があります。予防は、手洗い・加熱・消毒・おう吐物等の適切な処理です。おう吐物は、半径 2～3m 飛び散る可能性がある為、新聞紙で覆い前述した 0.1% 次亜塩素酸ナトリウムをたっぷり（2 ℓ 以上）かけ 10 分以上放置後回収し、ビニール袋に入れ 0.1% 次亜塩素酸ナトリウムを適量入れ、ごみ収集車で破裂しないように空気を抜いて密閉し可燃ごみとして廃棄します。

平成 27 年度 第 2 回千葉県学校薬剤師会支部長会議報告

千葉県学校薬剤師会
副会長 小西弘晃

平成 27 年 11 月 1 日、学校保健講習会&薬物乱用防止教室講習会当日の午前中に第 2 回支部長会議が開催されました。当日は 22 支部中 13 支部の学校薬剤師会の支部長にお集まりいただき、今年度の全国研修会の状況や県学薬地域サポート事業の地区別研修会の状況等の報告がなされました。また議題としては、午後に開催される講習会について、県立校における二酸化窒素測定についての要旨の伝達及び先に実施された「学校薬剤師調査 2015」の集計結果の報告が行われました。

「学校薬剤師調査 2015」では、調査票回収率 79%と非常に回収割合が高く、学校薬剤師に対する関心の高さが窺われました。その内、LED 設置教室については、まだ多くない結果が得られましたが、今後の状況を鑑み、支部長会議の最後に小生より、LED とブルーライトについてのレクチャーを行いました。詳細については、各支部長にお尋ねください。また、「薬教育」の実施については「ある」と答えられた方が、20%とまだまだ浸透されていないことが解りました。自由筆記の「学校薬剤師いいことメッセージ」では、大変多くの気持ちの良いコメントをたくさんいただき、学校薬剤師に対しての思い入れの強さを感じられました。県学薬ホームページでもご紹介させていただきますので、ご覧いただければ幸いです。

その他の項目では、様々な意見交換がされ、今後ますます学校薬剤師業務が活発化することと感じました。